

昭和16年 ^{みこし}神輿、^{たいこひきやま}太鼓曳山、^{おおだいこ}大太鼓の奉納

昭和16年、京浜地方の有志により御神輿が奉納され、地区の青年団によって各地区をリレーし、町中を練り歩きました。



昭和16年9月17日
奉納式の様子





昭和16年9月18日

下後 延勝寺前を練り歩く
神輿と太鼓

神輿^{みこし}は、昭和50年頃までは町内の青年団によって各町内リレーで担がれていましたが、その後傷みが激しくなり中止され、現在は車で曳いています。



東京大相撲の巡業

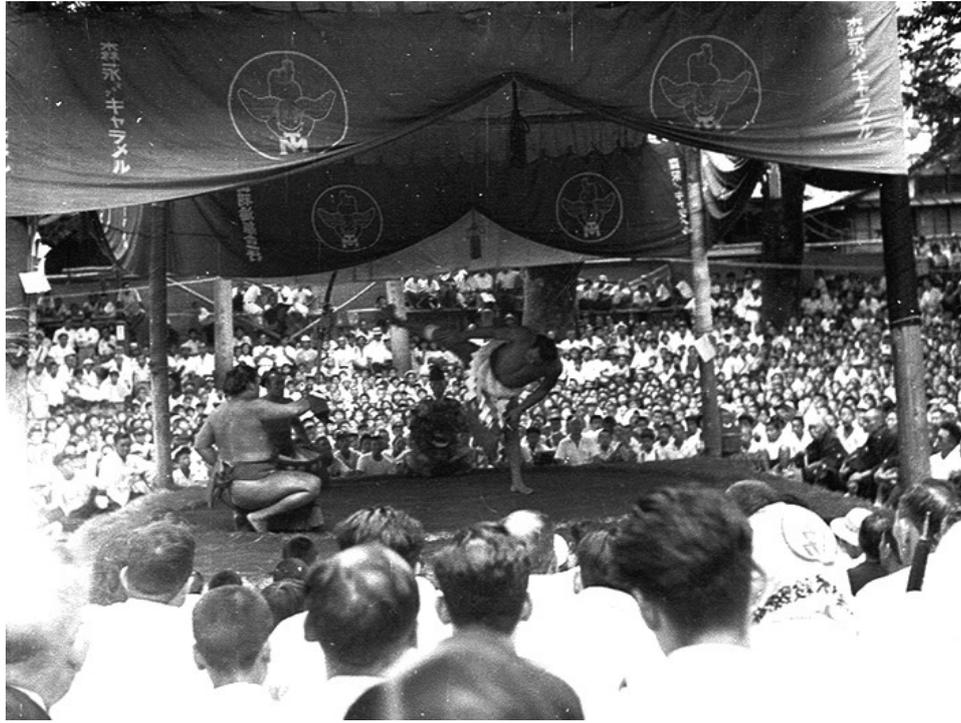


昭和20年代勝山料理組合の有志が大相撲の勧進元となり、東京大相撲が神明神社にて興行されていました。

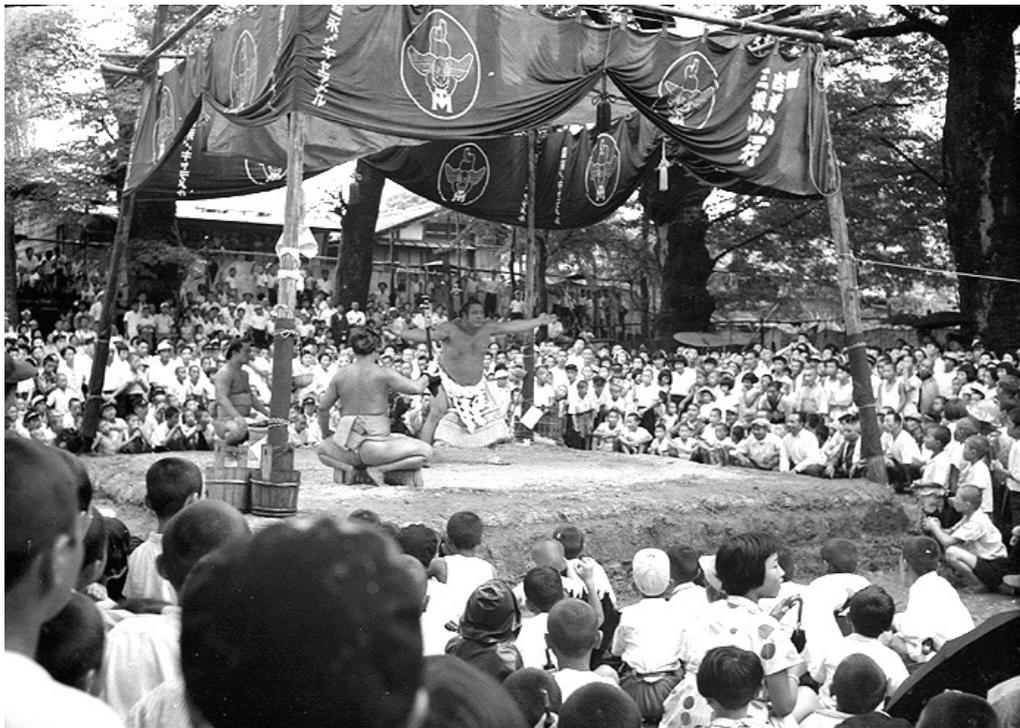
はぐろやま ちよ やま とちにしき
羽黒山、千代の山、栃錦、
よしばやま みつねやま
吉葉山、三根山など再三巡業に
来て、町中は大変な賑いでした。



ちなみに千代の山の奥さんは、遅羽町中島の出身です。



昭和27年 第41代横綱 ^{ちよ}_{やま}千代の山の土俵入り



昭和31年 第43代横綱 ^{よし}_ばやま吉葉山の土俵入り

秋の長山

秋は行楽のシーズン。

長山公園では秋晴れのもと、^{きのこが}茸狩りの客や^{いあんかい}慰安会の団体などで大変な賑わいでした。



昭和32年10月 秋の慰安会





昭和32年10月 秋の長山でのきのこが茸狩りの様子



年の市



昭和26年 1月26日 年の市の様子



江戸時代の終り頃、年の暮れに近隣の農家が町に出て、副業で作った民具を売って正月を迎えたことから、年の暮れの12月26日と、旧正月の1月26日に、年の市が開かれました。

市には竹籠たけかごやソウケなどの日用品のほか、臼うすや杵きね、雪国の必需品であるかんじきなどが並び、買い物客でたいへんなにぎわいでした。

人々の生活の様子

昭和16年のラジオ体操

昭和16年、健康増進のため、毎朝6時から街頭や広場でラジオ体操がおこなわれました。



昭和16年 中後区の様子



昭和16年 本町通りの様子

まちかどの様子



昭和30年頃 玄関先にてスナップの様子



昭和30年10月 ^{よめど}嫁取りの様子

おおしょうず
大清水



昭和37年 おおしょうず 大清水の様子 かげつろうみなとぼし 旧花月楼湊橋下

おおしょうず
大清水は当時、洗い場や果物を冷やしたりするほかに、子どもの水遊び場としても
日常の生活に欠かせない場所でした。

勝山橋^{ふきん}附近の様子



昭和25年頃 勝山橋上流の様子

昭和25年頃の九頭竜川堤防の勝山橋上流では、桜の木はほとんど植えられておりませんでした。

昭和30年頃 弁^{べん}天^{てん}河^が原^{わら}での川遊び風景

昭和30年代の九頭竜川勝山橋^{ふきん}附近は、この時代の子供達にとっては最良のオアシスでした。



川も深く^{おぼ}溺れる者も多く、勝山水泳連盟員が監視に当たっていました。